

工 事 番 号		部 長	室 長	室長補佐	係 長	検 算 者	設 計 者
設計年度	平成31年度		河川災害埋塞土撤去工事（砂防河川小坂川）				
施工月日	令和	年 月 日					
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要			起 工 理 由				
施工延長 380.0m 崩土撤去 仮設工 V= 1,400m3 一式							

災害復旧事業
三原市小坂町



仕 様 書

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市小坂町 河川災害埋塞土撤去工事(砂防河川小坂川)に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書 令和元年8月 広島県※土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。(https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/)
 - ・その他関連規格類

第2節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」(以下「ガイドライン」という。)に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者(以下「サービス提供者」という。)との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点を把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第2章 施工条件

第1節 用地

- 1 原形復旧とする。

第2節 施工時間（施工に際しては地元調整を十分に行ったうえで作業を進めること。）

- 1 施工時間 8:00～17:00（作業可能時間）

第3節 安全対策

- 1 交通誘導員・警戒船・保安要員

工事箇所について、作業期間中、交通誘導員を1（人／日）見込んでいる。

- 2 保安施設

工事標示板 現道工事における保安施設のうち、「工事標示板」の標準様式については、土木工事共通仕様書のとおりとすること。

工事情報看板等 路上工事に関する情報を歩行者や工事現場周辺の住民に周知するため、工事情報看板及び工事説明看板を設置すること。標準様式は土木工事共通仕様書のとおりとすること。

第4節 工事用道路

- 1 一般道路

使用期間 工事施工期間

使用時間 8時～17時

工事中・後の処置 随時 清掃、 工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。）

第5節 その他

- 1 工事用機資材の仮置き

受注者が責任を持って確保すること。

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和元年8月 広島県）『1-1-30 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。
また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

第5章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

河川災害埋塞土撤去工事（砂防河川小坂川）

砂防河川小坂川

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
築堤・護岸		式	1	レベル1
河川土工		式	1	レベル2
掘削工		式	1	レベル3
掘削	土砂 上記以外(小規模) 標準以外	m3	1,400	レベル4
土砂等運搬	土砂	m3	1,400	レベル4
積込(ルーズ)	土砂	m3	1,400	レベル4
掘削補助機械搬入搬出		式	1	レベル4
残土処理工		式	1	レベル3
全工種共通仮設		式	1	レベル1
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	11	レベル4
** 直接工事費 **				
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				

図面番号	縮尺	図示
事業年度	平成31年度	
工種	河川災害埋塞土撤去工事	
種別	平面図	番号 1/1
名称	砂防河川 小坂川	
工事箇所	三原市小坂町	
三原市		

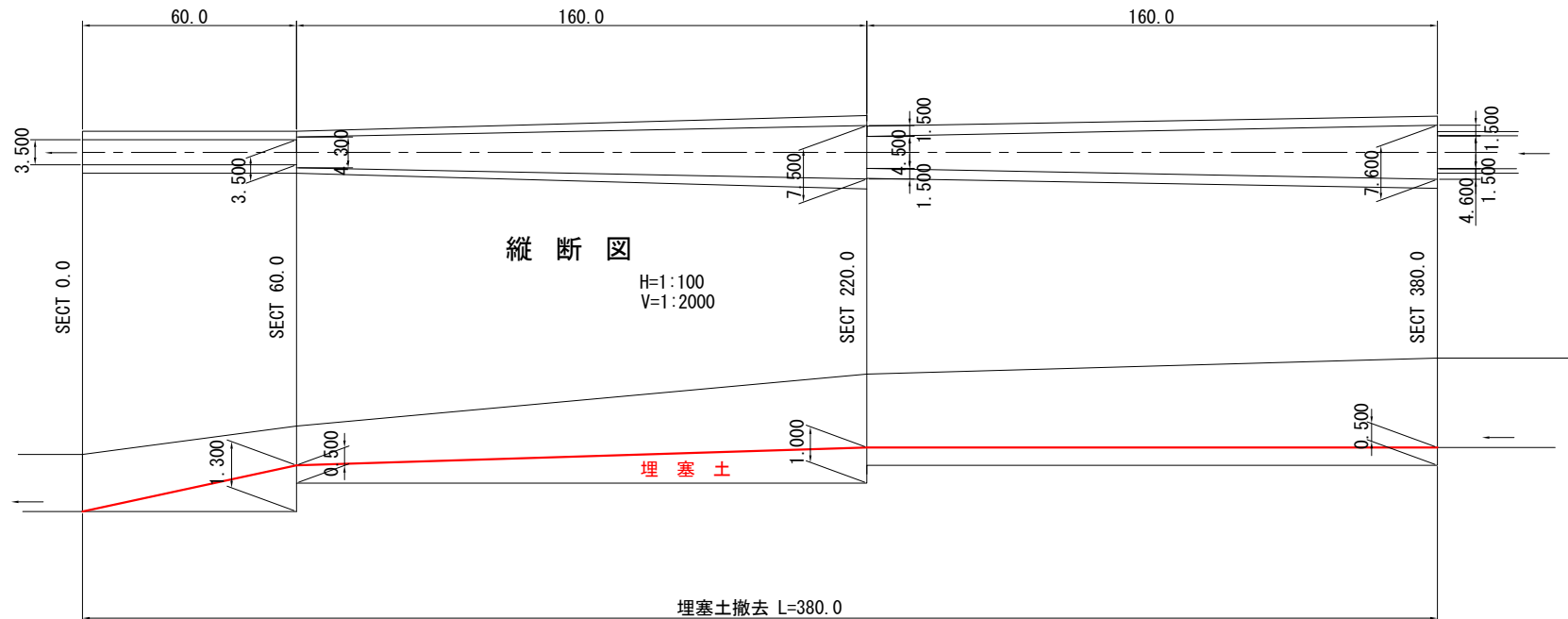
平面図

S=1:2,000



河川平面図

H=1:200
V=1:2000

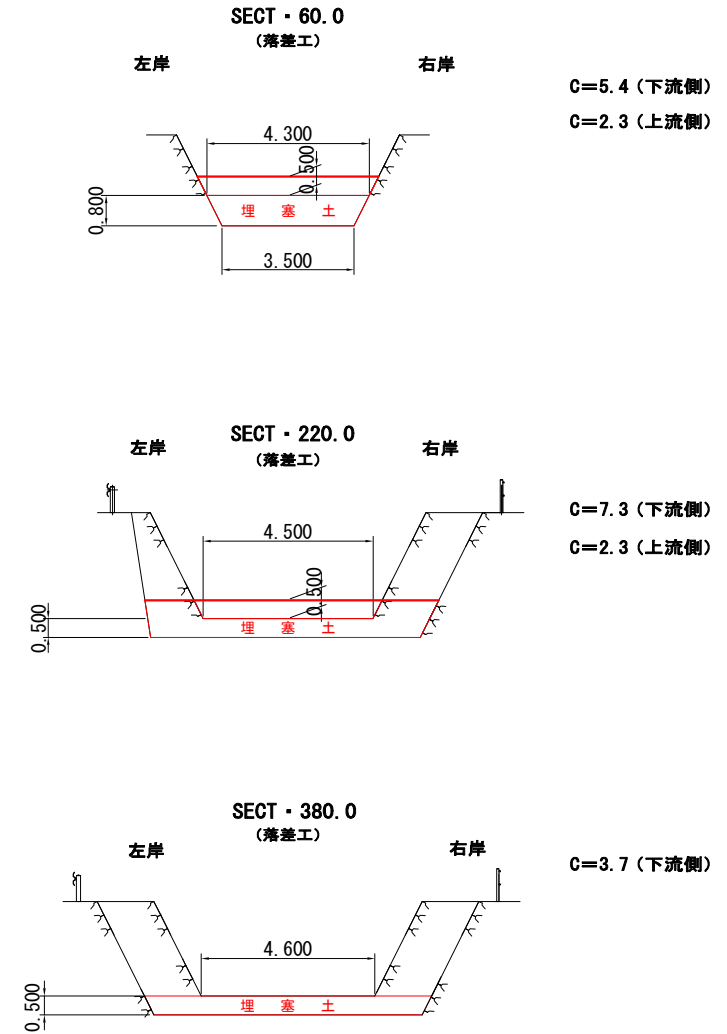


縦断面図

H=1:100
V=1:2000

横断面図

S=1:100



参考資料

河川災害埋塞土撤去工事（砂防河川小坂川）

砂防河川小坂川

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 59 三原市 00-02.01.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 01 河川工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
築堤・護岸					Y1A01 レベル1
河川土工	1	式			Y1A0101 レベル2
掘削工	1	式			Y1A010101 レベル3
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外	1,400	m3			Y1A01010101 レベル4
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外	1,400	m3			SPK19040001 00 単第0 -0001 表
土砂等運搬 土砂	1,400	m3			Y1A01010102 レベル4
不整地運搬車 5,000m3未満 BH(クローラ型) 山積0.45/平積0.35m3	1,400	m3			S1010005 00 単第0 -0002 表
積込(ルーズ) 土砂	1,400	m3			Y1A01010108 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
積込(ルーズ) 土砂 平均施工幅1m以上2m未満	1,400	m3			SPK19040007 00 単第0 -0004 表
掘削補助機械搬入搬出	2	回			Y1A01020105レベル4
掘削補助機械搬入搬出作業	2	回			SPK19040016 00 単第0 -0005 表
残土処理工	1	式			Y1A010108 レベル3
土砂等運搬 土砂	1,400	m3			Y1A01010802レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離3.5km以下(2.5km超)	1,400	m3			SPK19040002 00 単第0 -0006 表
残土等処分	1,400	m3			Y1A01010803レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
埋塞土処分費 砂・砂質土・礫質土	1,400	m3			F0000000001 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
全工種共通仮設					Y1J01 レベル1
	1	式			
仮設工					Y1J0101 レベル2
	1	式			
交通管理工					Y1J010121 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1J01012101 レベル4
	11	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	11	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....		率補正率.....			
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					

施工単価表

掘削

SPK19040001

単第0 -0001 表

土砂 上記以外(小規模)

標準以外

1

m3 当り

機械構成比: 24.57% 労務構成比:

67.61%

材料構成比: 7.82%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,249.80000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	24.57%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	67.61%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.82%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 F=8 標準以外			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

積込(ルーズ)
土砂

SPK19040007

単第0 -0004 表

平均施工幅1m以上2m未満

1

m3 当り

機械構成比: 32.86% 労務構成比:

54.31%

材料構成比: 12.83%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

262.44000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3	32.86%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3		MTPC00010 MTPT00010
運転手(特殊)	54.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.83%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=3 平均施工幅1m以上2m未満		

施工単価表

土砂等運搬

SPK19040002

単第0 -0006 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離3.5km以下(2.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 48.90% 労務構成比:

36.46% 材料構成比: 14.64%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

932.84000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	48.90%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	36.46%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.64%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=17 距離3.5km以下(2.5km超)			B=3 バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3) D=1 DID区間無し		

数量計算書

河川災害埋塞土撤去工事（砂防河川小坂川）

砂防河川小坂川

計 第 1 表

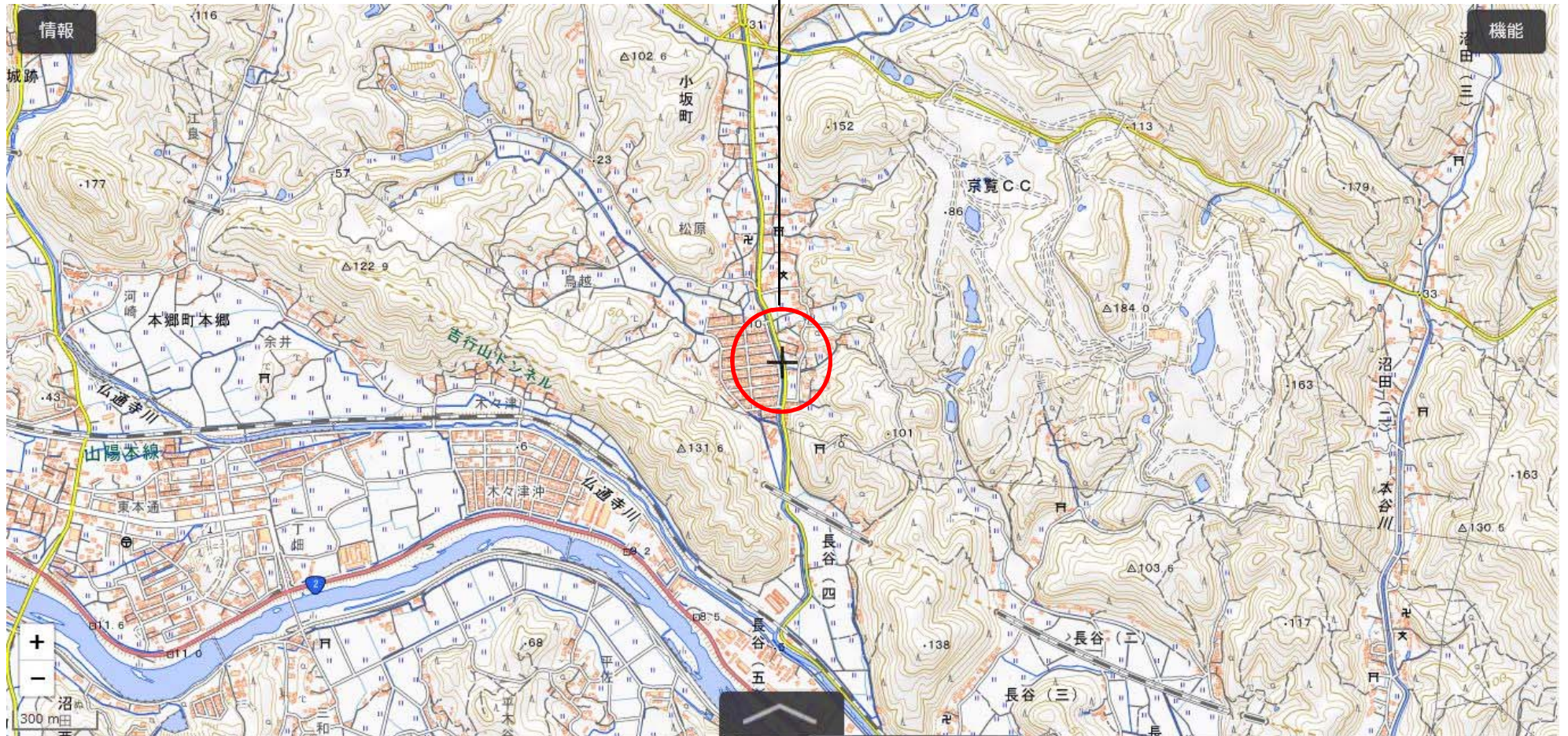
掘削

計 算 書

測 点	掘削				距 離	平 均	備 考
	距 離	C	平 均	立 積			
SECT 0.0	-	0.0					
SECT 60.0	60.0	5.4	2.70	162.0			
SECT 60.0	-	2.3					
SECT 220.0	160.0	7.3	4.80	768.0			
SECT 220.0	-	2.3					
SECT 380.0	160.0	3.7	3.00	480.0			
合 計				m3 1,410.0			0.0

位置図

河川災害埋塞土撤去工事(砂防河川小坂川)



国土地理院引用